2024
8/24
土
10:00〜
(9:30開場)

食べることは生きること

食・農・給食の映画祭

会場　響の森　桶川市民ホール
（桶川駅西口から徒歩５分）

主催　食・農・給食の映画祭実行委員会
埼玉オーガニックネットワーク(SON)　ワーカーズコープ埼玉事業本部
子どもたちの未来を考える会〜いろどりの輪〜　ガイアクラブひととき
後援　上尾市・桶川市・北本市

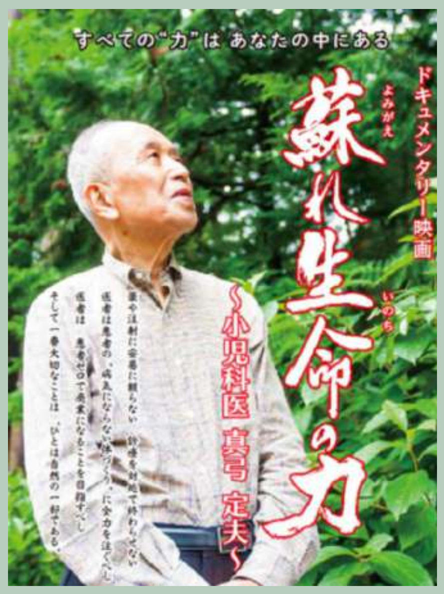
プチマルシェ開催♪
館内ホワイエにて
食べ物・飲み物を販売します！

上映会スケジュール

2024
8.24（土）
10:00～
（9:30開場）

① 蘇れ生命の力　～小児科医　真弓定夫～

10：00～11：40　（上映時間　95分）



小さな診療所に全国から「名医」と聞きつけた患者が訪れる、ここにはクスリも注射もない。代わりに、時間をかけて生活習慣のアドバイスする真弓医師は「病気を治しているのは、医者ではない。自然治癒力だ」そして問う「忘れてはいないだろうか？私たちは自然に生かされているいち"動物"であることを」作品は真弓定夫医師と生命の力を信じ歩き続ける人々を追いかけたドキュメンタリー

監督：岩崎靖子

② 夢みる給食

12：00～13：20　（上映時間　77分）

13：20～14：00
会場内の皆さんと
感想シェア

全国各地で広まっている「オーガニック給食」にスポットをあてたドキュメンタリー。学校給食の100%を地産有機米にした千葉県いすみ市、生物多様性の観点からオーガニック化を進めた新潟県佐渡市、地域農業保全も併せてオーガニック給食を進めてきた東京都武蔵野市など、オーガニック給食の最前線を取材。「夢みる小学校」「いただきます」などのシリーズを作り上げてきたオオタヴィン監督作品。

監督：オオタヴィン

③ 百姓の百の声

14：20～16：30　（上映時間　130分）

映画「百姓の百の声」より

「食」の原点である「農」をテーマに、全国の農家の人々の知恵や工夫、そして人生を、丁寧なインタビューと美しい映像で紡ぎだす。彼らは畑で何と格闘し、何を考えているのか、様々な課題を独自の工夫で克服する姿を通し、多くの人々が「風景」としか見ていない営みの姿を鮮やかに浮かび上がらせていく。
第38回農業ジャーナリスト賞受賞

監督：柴田昌平

16：30～17：10　アフタートーク

自然農法「いろいろ米」
上野 長一 さん

④ 腐植土　～地球を救う忘れられたチャンス～

17：30～18：50　（上映時間　71分）

これまで注目されることの少なかった「土と気候の関係」を明らかにし、研究と実践の両面から土を豊かにし大気の二酸化炭素を減らす腐植土の役割を描くドキュメンタリー映画。エジプトの砂漠地帯に緑豊かなオアシスを構築したセケム農場。ゴミから毎日110ｔのたい肥を作るブラジルの循環経済のまちマリンガ市などのレポートは圧巻です。　監督：ポルフガング・シェルツ

18：50～19：30　アフタートーク（対談）

北本市　加藤トマト園
加藤 浩 さん

ノンフィクション作家
島村 菜津 さん

お申込みQRコード

料金
1作品1000円
2作品目から500円
※高校生以下無料※

⇩こちらからもお申し込みいただけます
https://forms.gle/QfHqiwCU3cu5jEyn7

食・農・給食の映画祭実行委員会

問い合わせ
090-2411-4561（石井）
090-4362-7162（飯沼）

実行委員会QRコード

食・農・給食の映画祭開催にむけて

食料危機や気候危機など、私たちが生きているこの時代を見つめ直し、次世代に豊かな未来を引き継いでいきたい。そんな思いから映画祭を企画しました。
今回は稀代の名医と言われた真弓定夫さんから「生命の力」を学び、「夢みる給食」で希望を感じ、「百姓の百の声」で豊かな農の世界を聴き、「腐植土」で土の持つ力を知る。そんなコミュニティを私たちが暮らすこの地域で実現できればと思います。
この企画の実行委員会は、農業者やそれに関わる仕事に長年携わってきた人たち、地域おこしをしてきた団体、地域で子育てしている女性のグループなどが集まっています。生活背景や、年齢などは様々。普段、繋がりのあまりなかったメンバーが手を取り合いました。
どうか多くの皆さんにご参加いただけますように。